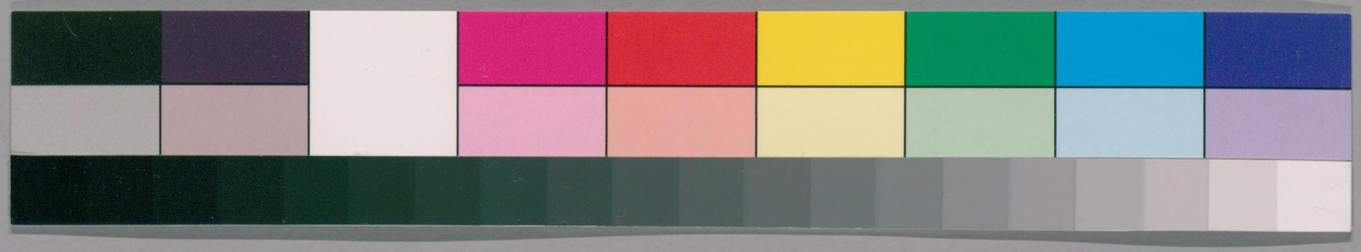


ガラス使用
国立国会図書館　タイトル『画図百花鳥 5巻』 請求記号 丑-46

畫圖百花鳥風

丑
4
46

東京圖書館
門 類 函 架 號 冊
丑 四
四

国立国会図書館　タイトル『画図百花鳥 5巻』 請求記号 丑-46

ガラス使用

東京圖書館藏

國立國會圖書館藏

国立国会図書館　タイトル『画図百花鳥 5巻』 請求記号 丑-46

ガラス使用

五十一

李

花ごふん付 えだぐろうんして多まろ付
或ハ白緑末うより墨くら筆そのけうけ合
ようごいてそこうひをへべし

紅雀

紅雀

鶯

五十二

山茶

茶梅花

竹之

五十三

秋海棠

鶺鴒

鶺鴒

五十四

糸櫻

垂絲櫻

練雀

連雀

国立国会図書館　タイトル『画図百花鳥 5巻』 請求記号 丑-46
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『画図百花鳥 5巻』 請求記号 丑-46

ガラス使用

五十五

罌子粟 ヌ宋壺 ヌ宋囊花

花ぶかり気合いごうん日給ち紅ハ
ど周ゑ色上朱ぬいう純ゑ外の果上あん
ーまの葉う地茎の汁ゑ茎めん合ゑう
こくりつひれゑこの茎の汁ゑてそうう角上ヌ
白こぐんをうくべー裏葉白緑茎の汁
くまこ

鶲 ひとさき 黄鶲 きとさき

茎稗まちくう雨法立ち角の上下あこ尾の添
ハ白ぬいぬ茎ーもうそうくべー風和のとト枝
ねきぬいごふんうけごふんけてこちをを
ぞう号をと合考へあへー

五十六

鵠鶲 くぐ

伸ねりくゑ外先白緑ち合ちごくべー白ね
四合ちごこ並角量仕立のーそのごくー風
ねのねりくんいうきこあありこんこうこー
けも狩氏のおいてつまよ画ちまちメー
ま方等ちこ席ちよくく用ちしいれ雑ち
ーをこうそ地くそんふうしいれ雑ち

數子花 いろぐれ 旋花

花ゑ外の果上こ多外ち後ごふんそこか
いをうくべー入一流ようすこちうう果
ねうよこ多外ち後ねりつづれも分てこー
心つれを凡合べー葉緑ち仕ちこごんよ
薫集どちみてそのまの外

可叟

国立国会図書館　タイトル『画図百花鳥 5巻』 請求記号 丑-46
ガラス使用

故人 正轉

五十七

蒲公英（たんぽぽ）

花ともその葉ともにそつとよいたべもうりけ葉等の汁ものまたよし二ぢん綠もうくべし

此草一草の仕事ゝ多くもふまいろいろしてよく用ゐる花もしべともうるがら共ゝ大和ゑうに仕立ておべし

五十八

黃蜀葵（うこそき）　秋葵

花葉ともにもうの具ありごふんにてもべ寒べし一ふくふるひ合せ其ゝ土後ごふんを用ゐくまもべし

雲雀（ひばり）

常品くさ形狀ゝ墨毛出ふくさ葉ゝみをいろべし一ふく合せ土後ごふんを用ゐくまもべし

雀（すゞめ）

常品ゝ形狀ゝくふるひ合せ土後ごふんを用ゐくまもべし

国立国会図書館　タイトル『画図百花鳥 5巻』 請求記号 丑-46
ガラス使用

白主

蒼官堂 一暁

国立国会図書館　タイトル『画図百花鳥 5巻』 請求記号 丑-46

ガラス使用

五十九

櫻（さくら）　桜

花数品あり略之

秦吉了（くりん）

常呂其形色ともに仕somo相似てそくまでくべし其特異なるは仕somo呂ひまでこんぜつあるをあびせべしかゝらいかゝるとも忘ることなくべし見かけ白きはごふんへべし

六十

豆藤（まめふぢ）

花もようの異なるけうそくお集ずいひて寒べし小枝と葉どころ松さみくうべし

小陵鳥（こりやう）

常呂形ごふんく尾ごふんくも大さ雀ほどもありくさ去入北月中二ごん細まる風切尾長さ仕somo呂ふちごふんくそくもかくさねがふまでくべし

粒ー〻豆藤ノ名リ　小ー陵鳥ー翼輕シ

精ー神模ー寫ノ妙　真ニ似レ幾ニ如レ鳴カ

岩岑水

国立国会図書館　タイトル『画図百花鳥 5巻』 請求記号 丑-46
ガラス使用

宰相の腊や頬白の雪の枝

如風

芍薬（しゃくやく）一名 将離花

赤ヲ本芍薬ト云 白ヲ金芍薬ト云 千葉ヲ小牡丹ト云

[illegible]

蜀葵子（いらご） 苺子 草苺ト云也

[illegible]

畫眉鳥（そうびちょう）

[illegible]

翡翠（かわせみ） 魚狗 魚虎 ひすい

[illegible]

国立国会図書館　タイトル『画図百花鳥 5巻』 請求記号 丑-46

ガラス使用

かハせミ

いろ〳〵や来て八重咲木蓮花

萬金

国立国会図書館　タイトル『画図百花鳥 5巻』 請求記号 丑-46

ガラス使用

六十三

木蓮（もくれん） 白紫二色あり

白ごうんを用ごうんにて筆ぜんぶ〳〵染彩まだまだの汁筆にて木筆ごうんを描き入べし

葉鳥（はとり） いろいろ

白ごうんを用ごうんにて筆ぜんぶ〳〵染彩汁筆にてわり胸初筆仕立ごうんぶ〳〵墨の具合〳〵きいろごうんもうすく入べし

六十四

牡丹（ぼたん） 一名 廿日草 富貴草 名取草 ふうりん草 上巻

紅白紫淡黄のあり花と葉ぜんぶ白の具ぜんぶごうんさゝやかの濃より抹紅の間色よりを筆にて仕立之牡丹にて仕立るごうん白いろ地白緑の具よごうんを用もくろ地白緑わり間色にて葉〳〵を画ときふりいとうけぜんぶにて筆ぜんぶ筆にて筆の汁仕立さゝ葉筆ぜんぶにび色ろく筆の汁くまをんぜんぶを入べし

菊戴（きくいただき） 鶲（ひたき）

紅より背中まで白筆の汁うす胸初仕立ろごうんぶまごうんもうすく合ごうんの入べし

百庵よ写す 牡丹加

女羅 琴風

菜の花や菜の花もより　斗百

六十五

菜（ぐさ）

花ごふんくろ菜緒ちまの汁あり
ちくごふんくろまま木うちうつれどごふんくろ

頂小鳩（てうこばと）　又鴿（はと）　斑鳩（いかるが）　鶉（うづら）

當年ちくろ成羽ちまの頬あちごふんくろまま服
ごふんくろまま粉ちまくろまま上の羽ちまくろ
一風切尾ちまくろ小羽ちくろ成羽ちまくろ朱の
上ぬりて仕立べし

六十六

石榴（ざくろ）

花ちくろ花肉色朱ぬりてあり上ちまくろまま
ちくごふんくろまま上ちまくろうち
葉緒ちまの汁仕立べし

八頭（やつがしら）

當年ちまくろまま羽の内羽ちまくろまま合ちまくろ
羽ちまくろまま上ちまくろ合ちまくろ脊中ちまくろ
羽ちまくろ成羽ちまくろまま上の羽ちまくろ
ごふんくろまま尾ちまくろまま上ちまくろ
一風切尾ちまくろまま上ちまくろ成羽ちまくろまま朱ぬり
上ぬりて仕立べし

国立国会図書館　タイトル『画図百花鳥 5巻』 請求記号 丑-46
ガラス使用

松梅咲き噪ぐ八仙から

曼菴

第泉

国立国会図書館　タイトル『画図百花鳥 5巻』 請求記号 丑-46

ガラス使用

六十七

葛（くず）

葛も蛇もさらに其上をゝゝくま夢ともぞ
ぶつ来編ち汁玄等の汁仕玄等の
汁して夢も入もべし

鵯（ひよ）

背ゝもくま脚ちくま脚ちう背中ぞうと
ぶつくまよりたちをりべし風物羽先ぶつく
まもとちう二字羽ぶつくま尾同く脇ぶ
いつれもちうちうちうくべし後角くごうん
くま同ぐくもぶもべし

六十八

くつまき

花ごうんくぶうそふぶもの汁上たるんぐ
ん風来編ぶもぶれ汁仕玄

文鳥（ぶんちう）

嘴と足ゝ赤肉色上ゝ来ゝ風目の心者ゝ
来ゝ下板目来ゝまゝもゝら洗ふぶにてめり
頬丸くゝ白ゝごうんゝ風ゝしゝちう背中ぶ
の具風物尾洗ぶもにてきゝ玄ゝゝめゝま
うす墨ゝて勢神くま一遍ゝくゝ

ゝくつまきよい川ゆゝうの九木物　尹督

国立国会図書館　タイトル『画図百花鳥 5巻』 請求記号 丑-46
ガラス使用

鶺鴒の尾やはじまる葉水仙　水光

六十九

水仙（すいせん）

金盞銀臺（きんさんぎんだい）

花ごろ冬より四一至まるの葉之巻白緑のりそろ後先よりをひきそわもとより葉をまき裏白緑巻の汁まるく後角去ありり

七十

石竹（せきちく）

紅白ぶちうす紫ありの形をまえ仕分立紅ハ淡色上朱白ごろんむすこれをんでうとむりさ紅をんの葉をんでうとむりさ白いづれもちぐぎよりうらくらくそ後ごとに葉緑をむこごん緑よりけ立巻の汁まるく後角去ハよべし

鶺鴒（せきれい）

黄鶺鴒（キセキレイ）

背中黄緑色の高く後ろより巻神うす巻くまるの汁つけ風切尾巻仕立後ごろんめりもっさごろん緑よりくまるをねこべし

比翼鳥（ひよくてう）

鸞（らん）

背中黄緑色の後ろ月形谷巻生朱ごとみ、もつこ背中黄緑色をんでめりをんでうとむりさ風切うすをめりうちにもまるとくべし尾二筋ちに分まるびはのめし法をいて仕立上ごろんぜごとうすくらべ雌全神雄二州そもらうすをごろんも去風切裏羽合まるごめりうち朱ごとみくりをんでくまし尾雄よりまるべくまるうさごんぜうくべし

国立国会図書館　タイトル『画図百花鳥 5巻』 請求記号 丑-46
ガラス使用

乙竹やきれうこと吹捨ん

浅賀

きゝすてゝ立てうれはくさ枝細

馬州

丑
4
46

七十一

桔梗

白ぼうこゝもあり地ばえ共法合ねりあげくまとりこんぜうねりかためごふんくま白金粉ごふん付立茎葉ともに淡の汁ねりこゝ段彩色を極よくしきせ入極合ごふんぐ付立茎をみじてつくさえごふんつくて付立ごふんつくさえ名の是にて付立名んじてはくこと皆仕あう用ゝ

黒鶫

嘴足、合共黒頬白くごふんと○色ぬりら法墨無地にて抜ごふん墨にて付立べし

七十二

丁子草

花こんぜう付立茎葉ともにて付立ねりくし段彩色淡の汁仕立

尾長　鳥風

嘴足くろ色ごふん段用墨ごふん胡粉ごふんにて○ぬり白ごふんくま背中翅墨の是墨ごふんぬりさ風切白ごふんくま先墨ごふん府墨ごふんにて三筋ぬ尾あさげごふん

尾長鳥

逸志

国立国会図書館　タイトル『画図百花鳥 5巻』 請求記号 丑-46
ガラス使用

丑
4
46

東京圖書館
門 類 畫 架 號 冊
四 四六 五 四

画図百花鳥

月

国立国会図書館　タイトル『画図百花鳥 5巻』 請求記号 丑-46
ガラス使用

東京都立図書館

卯花

卯毛也脂出於其上故名之

呉文

卯花（うのはな）

花ごころ分ちまぜよとの呉竹の
節をもるまの汁もり 雨竹

杜鵑（ほととぎす）

杜宇　子規　子巂　蜀魄
魋鵑　鶗鴂　鶗鵙　買鏡
時鳥　霍公　別都鳥　宜壽

常呂哥訳義ノ風背中うすをみくま
法皇にて府と付ごうんうを入そ〜ごうん風
うまうまうて麻を入ごうんをうさ風仙尾
うまふ時月ドロのうら和ろぎ〜

雞冠（けいかん）

鶏頭花

花赤い肉を上茶ろ風うんじてつくさ
黄いごろんうまうまうま

七くさ

一丸

連翹

女羅架 狂斧 松

七十五

蓮翹（れんぎょう）

花ごろの具合と茎葉の付きぐあい
かくのごとし

瑠璃（るり） 翠雀

背より尾羽にかけて青く
腹より尾羽にかけて白し
脚も青し

七十六

風蘭（ふうらん）

花ごろの具合と茎葉の付きぐあい
かくのごとし

啄木鳥（きつつき） 鶺鴒

背より尾羽にかけて赤く
腹より尾羽にかけて白し
脚も赤し

啄木鳥（きつつき） 鶺鴒

伴輅

国立国会図書館　タイトル『画図百花鳥 5巻』 請求記号 丑-46
ガラス使用

畫工精妙沙羅樹碧鳥初生豈不愛欲問涅槃真實相堪憐嘴背絕嗚啾

玉宗千乘

七十七

沙羅雙樹

花ごふんくまごふん葉もちごふんくして
葉ともちうくふうそふ白緑りうもの
汁くうり名ゝ下くは葉編もちの汁うり
くは葉也

七十八

牽牛花　朝皃

花も葉も莖も根も法ありもんがら法上たこん
花も葉も莖も根も法ありもんがら法上たこん
花も葉も莖も根も法ありもんがら法上たこん

碧鳥

嘗呂ふ是くは根白ごふんくまで脊中
根花ふ是くまでまでもうさ編うさ合
葉止うべし

名ふかの

嘗呂ふ是くまでから根白ごふんくは根もも
うさ脊中是くまで根初尾ふた是仕立
うりこまねくうさ是上た合葉生うけごふん
くは根ごふんもちうべし

国立国会図書館　タイトル『画図百花鳥 5巻』 請求記号 丑-46
ガラス使用

日よろこむや衣なりつばめ

千雀

ほうしろに夏籠小深山の百合の花ふさ

少年 金助

国立国会図書館　タイトル『画図百花鳥 5巻』 請求記号 丑-46

ガラス使用

七十九

百合（ゆり）　薤韮

赤白あり赤いのは花開き葉くまあんじつくさきあり葉そぎもぐみて白いと什ろ白いごうんこ根あり皮をけてつきごうんうてもぐべし洗あみじて白らを入茎白緒葉緒ともの汁什之

深山頬白（みやまほおじろ）

嘴足黒くしし黒こ風脊中まで上の栗どうひけ腹初黒仕之尾羽ご根合黄生うのごうんこまこもごうんこ

八十

仏甘菜（ほとけのざ）　萩

花合黄生葉緒ともの汁にて仕之枯木枝米どみてそ入とべし

烏（からす）

嘴足黒の四ぐく黒体黒生にて

鳥ゝ脚ともに黒く仕て嘴ゝ黒ゝ常ゝ住　春

茨　莎鶏

李水

国立国会図書館　タイトル『画図百花鳥 5巻』 請求記号 丑-46

ガラス使用

蘭とりく春ふかく紫菜うる

玄詞

八十一

芝蘭（しらん）

花名不詳の異名ありてそこらまゝ
はえべし一茎二ぐん位有そこら
はえ

八十二

椿（つばき）

花名不詳の異名んぶくまゝはつきざるなれど
ものぐく入べし花の形ちごふんこまか
うすくくべしちぐごふんこそあとそこら
をくべしそこらに俗ありけれどもそこら
じくまどろべし一茎葉三ぐらい俗
くはなとべし

鶫（つぐみ）

黄昏名不詳の異名ありけれども無拵
ものけくまゝはなれけれども鳥物屋に
くはなちごふんこそこらにいくまごふん俗
出もの也そこらに俗ありけれども
もうさて後ごふんこまゝはもとべし
日の内ちごふんこみそこらにいべし

青鳩（やまばと）

黄昏名不詳の異名ありけれども無拵
ものけくまゝはなれけれども鳥物屋に
くはなちごふんこそこらにいくまごふん俗
出もの也そこらに俗ありけれども
もうさて後ごふんこまゝはもとべし
日の内ちごふんこみそこらにいべし

国立国会図書館　タイトル『画図百花鳥 5巻』 請求記号 丑-46
ガラス使用

山吹や花の奥ゟ矢声寺

蓮東

母のゝあれ雀もまゝと名

小寺菊麿

国立国会図書館　タイトル『画図百花鳥 5巻』 請求記号 丑-46

ガラス使用

八十三

海棠

花びら形ふち白く一重の実多くさく後ごうんこまきぐ多くてつぶつぶ多くの実多くさく後ひらきよりうす色深つよくめるだしうそなきものの汁葉ニごん緑青ろ汁りく仕立べし

黄鳥

背多くの実多くさく後ごうんこまきの実熟枝ちうこまはもえ羽空法あをふちおびとよりくちばしそして一遍だく先よりごうんこまはもえとべし尾りぐく仕立べし

八十四

萩

白はぎわくそきくさくの実多くさく後ごうんこまきの実熟白いごうんこ後ちうこまきこぶん緑青ろ茎の汁そて仕立べし

鶉

背ニうこ後合黄土うくべし地ち絵ニ仕くこ後ちうこまきくさくべしちうくべし合黄土うけごうんこまきくさくべし

大名行列ふり仕立

蘭洲

国立国会図書館　タイトル『画図百花鳥 5巻』 請求記号 丑-46
ガラス使用

八十五

さんこはくの末

花をかぶの異名をかぶら仮名にてこゝろんくまごろん
くまこ芝合黄土をかぶくまと

かいつる

鷽

嘴尾ともに黒白ごろんまだらにて背に実黄
うす墨ふち雨に朱ぼかしくべし茶墨にて
毛立風切羽尾うらごろんくま黒ようん
ぜうにて奇をほどこすべしごろんを入るべし

八十六

木槿

舜英

花をかぶの異名をかぶら仮名にてこゝろんくまごろん
紺をうすくかぶら仮名にてこゝろんくまの汁くゝり仮名にてこゝろんくまとゝべし

きんくろ

嘴白しごろん尾羽ともに淡墨にて風切
羽尾共黒仕立胸背うす墨ふち仮名にてこゝろんくまと門こゝろんくまとゝべし

国立国会図書館　タイトル『画図百花鳥 5巻』 請求記号 丑-46
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『画図百花鳥 5巻』 請求記号 丑-46

ガラス使用

八十七

桃

それ桃の実ことに多く食べごうんありそうそれ実そしてその葉の汁葉ろくせう葉の汁ろくせう

音哢

ばん雀を用の四味よく洗白煮ろ成葉の汁もりそしむりろうまで去ろうろうまろうの実ろそ去風切羽ろうさ入金柿ろ白煮のろまれ仕立尾のきいよ毒きみのもあり煮ろて仕立べし

八十八

鷲爪

花ちゃうの実葉をれけうてお去べごうろみ実仕立ろし

山雀　鵐

喘ろ雀を用のろうり金柿ろうろ雀ろくまよ一味そ洗ろくる頃ろうり抜ますて合葉土ろくる風物尾た雀を仕立ふられてごうんをうさごうんこわい入毒仕立もうさ煮ごろん

唐嶺千山在雪

擔山

国立国会図書館　タイトル『画図百花鳥 5巻』 請求記号 丑-46

ガラス使用

八十九

栩（とち）又 櫪 樸樕 大葉櫟

葉緑青苔のごとくにて厚く冬猶落ず枯葉を含む実を煮てさらしたべ

繡眼児（めじろ） 目白

背と尾とは青くして目の回り黄色ごろんまるくて目白のごとし啼声うぐいすに似て美し

茶の汁をさらさらかけ煎じてもよし

九十

木葵蓉（もくふよう）

木白に花あり花も木下の呉茱萸に似り

茎葉を煮てよりごろんとして油こんつぶを

うてふ白油茶の汁に油を入草乃汁くま和らとべ

鶸（ひわ）

背と尾とは青くごろんぜごろんに似て黄色

ごとみりけり目元に黒斑ありその二筋の

ごろんくまり目もりさ胸白ーごろんまり目

もりさし

国立国会図書館　タイトル『画図百花鳥 5巻』 請求記号 丑-46　ガラス使用

雨ふくみたる夏草

加齋

かりやどるつゆの朋寝覚

拳石

国立国会図書館　タイトル『画図百花鳥 5巻』 請求記号 丑-46

ガラス使用

九十一

刈萱

花ごろ 茎の先に小さき花の五六ツ宛合いづれも 葉ながく 生ず

白雲雀

背黒の斑ありて 脇腹うすく 赤し 嘴細く 尾短し 雲の上にて 鳴く故 名とす

九十二

柿

花ごろ 葉の間に 小さき白花 開く 葉厚く 光沢あり

山鶫

背黒く 赤し 頭上 赤く 頬 黒し 喉 白く 胸 赤し 腹 白く 黒斑あり 尾 黒く 端 白し 冬の 夏 山に 居て 木の実を 食ふ

雨そゝぎ羽毛ととのひ 村乃雨 沾緑

国立国会図書館　タイトル『画図百花鳥 5巻』 請求記号 丑-46
ガラス使用

御覧のごとく

千金

木綿（こそ）

古終　日本民間所作是也

其葉ごとく互生（かはりあひ）にして（一名）葉も木ぶりもごとく分（わか）れてる白綿（しろわた）を結（むす）ぶ

唯紅鳥（のこどり）

背黒くすゝきの穂（ほ）のごとき脊（せ）まで生（は）えて

すゝきの穂と異（こと）ぞみな目のごとく（一名）鶸（ひわ）ともいふ

藤（ふぢ）

豊草　黄環

葉白（しろ）くうらに花（はな）ちりめんのごとくにて

ごとくこんぜり　汁（しる）を白練（しろねり）葉（は）にも

汁（しる）仕（つか）ふ　又葉合（はあひ）生（は）ふるものの汁

（一名）ちごんぐさ　葉（は）のごとくにて

葉（は）ぎみぐさり生（は）ふ汁（しる）を合（あは）すべし

蕪（かぶら）

乱

国立国会図書館　タイトル『画図百花鳥 5巻』 請求記号 丑-46　　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『画図百花鳥 5巻』 請求記号 丑-46
ガラス使用

九十五

矢蜜櫻

花ごろん分ニ葉共ニの分ニ絵ニ
いづれも事ニようく仕ニ

鶺子鳥　楽厲　青蓑

九十六

蘭

花ニろ〳〵の異名ニ多ニ
ろ〳〵まれ計ニ風名ニ

駒鳥

鶺ゝや風の招扇車　一葉乃丸

曼義

国立国会図書館　タイトル『画図百花鳥 5巻』 請求記号 丑-46
ガラス使用

九十七

風車（かざぐるま）　鉄線花

それもさまざまありぐさはこんぜうくせ　ふいの
葛のぼくくもぐをもつくさ花をみどりくり
葉二ぐん添てをのけ仕立葉ざくさ
仕立なり

九十八

川魚鵜（かはうかひ）

かしらをくさ花もうさうする玄背中後た
あさぐれの足をも毛も風初法をてちち
ごふんくな尾もほど月のくさあごくんだ
ふんくまく

萱草（くわんざう）

萱くさ

国立国会図書館　タイトル『画図百花鳥 5巻』 請求記号 丑-46
ガラス使用

冠の松ほりやさほりつかやうら野し

峭くこぬさとと木兎の巣周一

峭一

国立国会図書館　タイトル『画図百花鳥 5巻』 請求記号 丑-46

ガラス使用

九十九

辛夷（こぶし） 杞棟

花ごろんろ酒ごろん茹でろうそかもろ汁
葉油もろろくま茹でろ
木ろもろ里もろそよあいろろろべー

木兎（ずく） 鵂鶹 角鴟 老兎
逐魂梟

ひょろう脊中黒ろ白上ニ筋どみろけそる
どみも出面ろ後合せ生ろけ筋ずろん
もろさごろんろろの出ももとべー

百

枇杷（びわ）

花ごろんろ茹でそかもの汁葉油ろ
もの汁ろろくま茹でろ
木ろもろ里もろそよあいろろろけ合せ
生のろろろいとべー

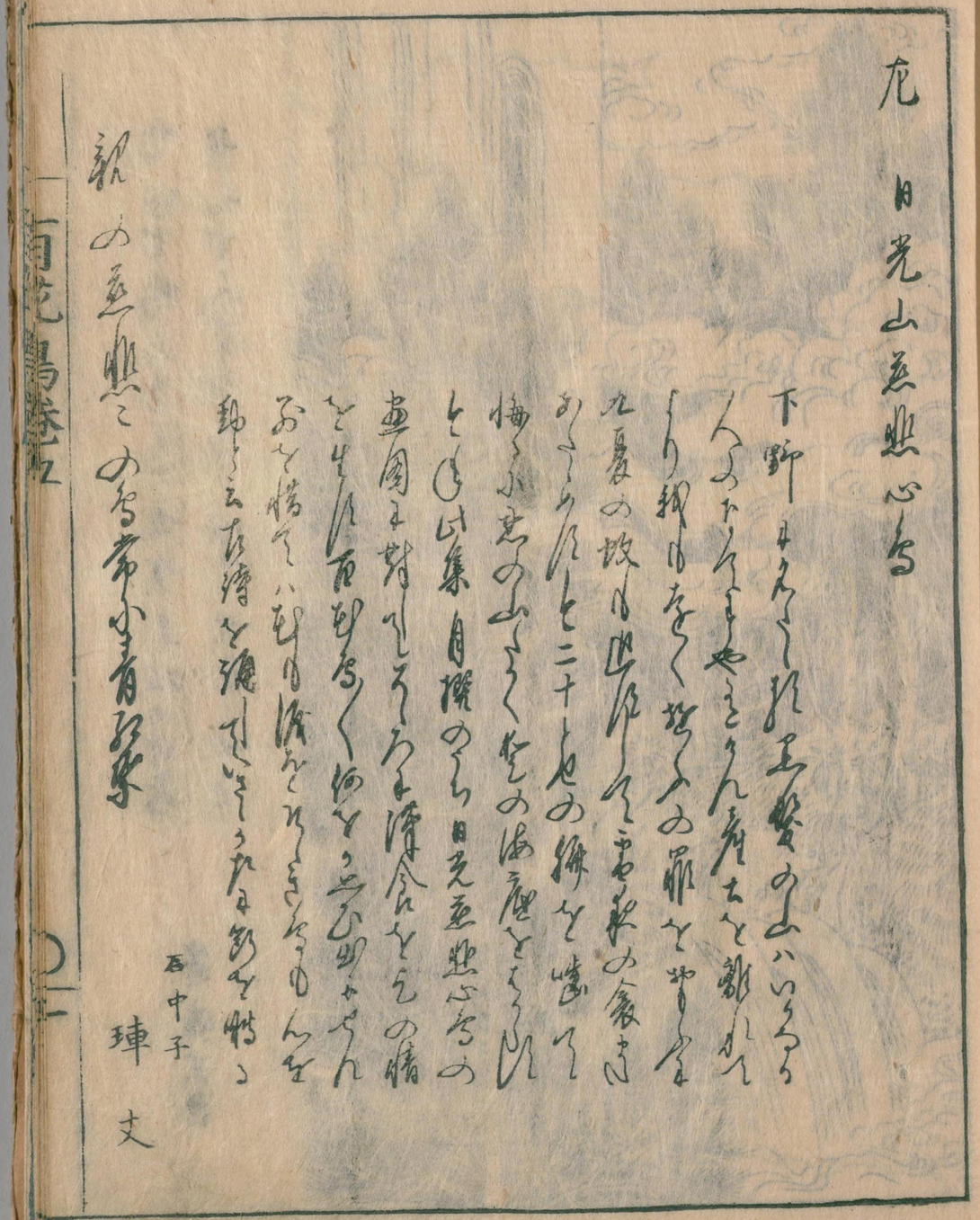
鶚（ろろろ） 鷲

合せ生ろけから筋どみろ茹目のろろ
筋どみろまごろんもろろ黒緯筋ろろ
りそ出分ごろんろろのもろもとべー
ろろまろまニ筋の汁ろべー

ふくろう 百花鳥巻四 枇杷法師

白雲

国立国会図書館　タイトル『画図百花鳥 5巻』 請求記号 丑-46
ガラス使用



高野鍾靈地鳧呼佛法信
倦飛投樹上妙畫勢騰々

肥陽 東溟

国立国会図書館　タイトル『画図百花鳥 5巻』 請求記号 丑-46
ガラス使用

右　高野山　御住僧

国立国会図書館　タイトル『画図百花鳥 5巻』 請求記号 丑-46　　ガラス使用

其一

佛と柳をそへの色紙　素丸
五徳をそへて雪景り　儀玉
五徳をそへて冰壺　舎人
五徳をそへて合歓　可雫
柳人を呼ぶ柴の戸　吉五郎
五徳や一季圍や大根　可雫

合併

佛法僧一季添しかたびら　舎人
三ばかり咲たる波れ芭蕉哉　志成
六十の外美麗と郭公　秀圃

遣手人の毛皮一重　可雫
三ばかり咲たる波れ芭蕉哉　沾意
春雨や小袖の models　海市

五徳をそへて
水鳥の
ほの字

沾山

国立国会図書館　タイトル『画図百花鳥 5巻』 請求記号 丑-46

ガラス使用

此左右二畫紅毛人之繪而所扁于總羅漢寺壁上也蓋至筆法精絶者則雖本邦及中華名画殊不相類然而賦彩象形宛然逼真珍花異禽如笑似語傳移摸寫之間妙悉無不臻惟恨未識五采所施欵為何物矣嗟乎可謂

一時奇観而非庸工所比也吾嘗有感即描写其大体藏之笈笥今因石中子請附於卷後以令好事者便覧焉

享保戊申五月望

財峨寫

国立国会図書館　タイトル『画図百花鳥 5巻』 請求記号 丑-46

ガラス使用

下はゆきの雫滴るわり落ちて五百の
なりよかなしき文母よ御ぐしわりて雫落ち
文母よ御ぐし文母もろ雫落ちよ御ぐしてて
ごと模写とお百乃画百合白夷乃画
にく細き流彩樹も極彩のごとく
なる生花ごとく
まく花大き輝き影めでたの画ける物
妙まと妙まと相映していと美っ
ごとなく世よ奇観なる極く

朝花なしや五百の端沼外国法　水光
見訓也衣賢外月ら山　珅丈
何うぞしと訓つ常地泡らく　岑水
書端くおれ茉畠　貞佐
はる明へぎんさ甘のお兎う管　常陽
指を磨よ侍日うぐさ　女
龍屋を清く童子一トなれ　貞佐
芝海を十荷ろかりやう　水光
ちぐらくの衣屋とのごとの　岑水
ほらくなる海日沙汰　貞佐

国立国会図書館　タイトル『画図百花鳥 5巻』 請求記号 丑-46
ガラス使用

人のたく香ひをとう門へ　水光
脇侍菩薩まち姑娘なり　岑水
鉢振の若いさゝれ目利く　貞佐
寄ゐよりもろ人のくる不抜　水允
宿掃ひさゝ門早せ門休よし　岑水
ゐ何と今まで生て居さ鮫　貞佐
尼衆さ　銀光地上　水光
まさなき投さ奇藻なり員　岑水
ゐ明神と紅葉もさ松持つ譬や　全
帆うすく廻細さひさ　水光

大九花鳥　次表を後ま魁よりの
ものなる不梅よ降さ杏うくねもる
似ま鶏あり似く似ま似ま
ま給ものまさ出まさ書ま
派千林よ入りく萬鳥よ
宝ろ　小子　鬼駈を画く双界の湯と
責しこの師の鞍ひいそよ沈暫くと

国立国会図書館　タイトル『画図百花鳥 5巻』 請求記号 丑-46
ガラス使用

止事をえ
の門に
とて
存
ふ
再
之

丑
4
46

ぬ士ノほそ子ゑんとりこみ

不曰沽之哉沽之哉

享保十三戊申歳暦仲秋

石中子守範

国立国会図書館　タイトル『画図百花鳥 5巻』 請求記号 丑-46

ガラス使用

丑
合 2
46

国立国会図書館　タイトル『画図百花鳥 5巻』 請求記号 丑-46

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『画図百花鳥 5巻』請求記号 丑-46
ガラス使用